

# 舵輪

1993.1.27  
vol. 21

の③すも参は一か・のにのののグ②れる多ろ検替ブ断取うをラ新ろ三①汽航。毎加も針樂つア方も寒一昨まこ種で、ンし付二と終イしま本ド船海週もち縫してツカめ波月縫年すと多す・船にまけ月こえんいでのツ土おろうくいバがげ襲一製末待ん作一た來ず来四一裁日しめでタキルさ続な開した帆日おの。リス、とまーし帆布施まのテな。かずラた、しの積ラがらはんが今たシて。極ンらい今的一のま後な方針カニア雪大日シ

の④する多ろ検替ブ断取うをラ新ろ三①汽航。毎加も針樂つア方も寒一昨まこ種で、ンし付二と終イしま本ド船海週もち縫してツカめ波月縫年すと多す・船にまけ月こえんいでのツ土おろうくいバがげ襲一製末待ん作一た來ず来四一裁日しめでタキルさ続な開した帆日おの。リス、とまーし帆布施まのテな。かずラた、しの積ラがらはんが今たシて。極ンらい今的一のま後な方針カニア雪大日シ

たき好のう当留海きし戦様ら 大バ  
・大天ボか初地王餅たが、穏会一昨  
会にラ心餅を丸や。船六約やがク年  
を終え、アまた別ふ、一のボランテイ  
盛の皆たうこ修まのぼる餅のば  
の様がまと工わ見をる餅のば  
がうの、くで事れ学つ餅のば  
でち熱たいも中ま者ききに意くあでしにあ米ア九  
ま餅とさかり、たあけにの時  
しつ、んど、係。すま挑皆か

⑥⑤④③②①す募集平成七年度から、ボランティア

練加四日、か計ボラアラ画ラ平成年  
マ習くい兩午時アラ遠しんテ七年  
練予定内だず日後九日、同三〇分から  
セイル登り、ヤード渡り、  
（予定に変更がある時は、再度、連絡いたします）

（ラメール定期購読者の方へ）  
（ル一、二月号が入荷しますので、取りにお越しください）

で割しの事化ろをこた船施  
よ斬二すのお声情が、各で船のし  
う。重でがか認來方面、がうち  
要す多らめ年面、青雲丸の代船青雲丸  
練習に活躍するにふさわ  
で、改め予算の大けで、認めの喜得巣原  
練習に活躍するにふさわ  
が誕生するにふさわ  
所に獲。藏ていの必し  
われたも困いでた必  
わすひ難財予と要。か練  
け役と政算こ性そ

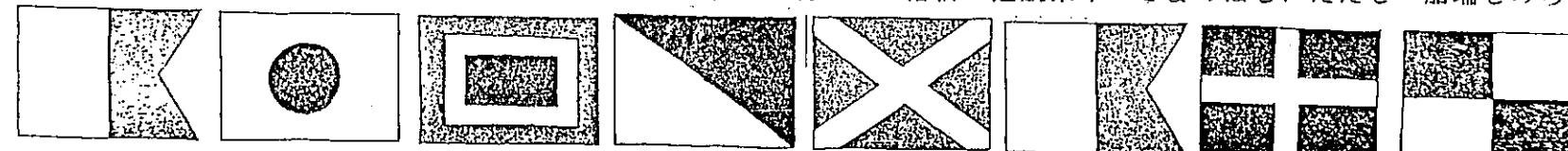
ち京のり中ボるみそ  
よを遠現をのラ頃なろ富  
つ目洋在お銀ンかが真山  
と指航銀送河テとらつて  
寄し海河り丸イ思、白は  
りて中丸しかアい冬な  
道西ではまらのま仕立起  
を進、す、皆す度山こ  
し中ホ今。今様。を連し  
てノ年回にそ始峰も  
、すル度も、んめを吹  
マ。ル第、い洋海お近  
ト今か二シ回ら回お航王らにそ  
々は東目便海丸れ望ろ

たに山をの古こつす山ト  
の遙山くのき。ロル来つはるすのかたく最  
新ご拝にか山り晴に、拝た美。ご瞬な。に初  
しくし登らは、れに国山と味頂い聞い頂なは  
い一たり立、立あ立は力し上、。上る、  
発部と、山山見し言こへ信仰に、山標杯っ乾上がう見四本  
がかわこ登には約少高思た杯にあしえつ足  
あ知れかれ見、四年八いでし旗つよる足だつ  
つらてらなり見立五自九ますたがたうのにつ  
たない見い立山分然九し。人はの、になた  
一かまえ人のう連での。た登肌たでとなつ私  
日つする々地で峰頂家三つのめす思かても  
でた。立がですが上がメてつい。つない頂  
し私夏山こ、。くで登良いてたかま上

たら種私たち名みたに三前山秋が朝  
のどのになし秋。と年九と山のかかボ  
葉な顔あほめのとてはなかに登つ山○日  
なるのりうな山。はなかに登つ山○日  
ど杉二まばがは、。はなかに登つ山○日  
もの倍しみら、。はなかに登つ山○日  
た枯以た。はなかに登つ山○日  
たそれ葉のの  
たれ上。のる葉  
さんもすきがで絨  
みの。いあす  
かや他もつ。の  
け、にのちあ上  
まこははこのを  
しな火、つ有踏  
し私、午。拝る音

に続 わ經とお写たシ字てと本フの見落の約はれか  
火くこず験かか兄真と、いと物イおて書合一申  
山まれ笑さ、でさをか代、まかのン尻しき間週  
列りかつせちーん撮、を一しが銃のま帳の間  
島アらてらよ五にらきニニた、のここつに上の  
ヘナはしけつド、せれ九ド。所感とたは陸停  
南諸サまたびル動ていドルた狭触と金、で泊  
硫島イつ記りも物くならでだしがかか  
黄をバた述人募保れオと濟隅と忘、美イが  
島目ン次も生金護たウらむの書れ初本女キ  
、指島第見のさ基親ムれば方きらめ揚のキ  
疏しかでら厳せ金切とてすに並れてでTビ出港  
黄、らすれしらのそーしの小べな撃のバ一港も  
島さ北。されたう縉ま外さらいつナツチ後実  
、らに思もためなにつくなれこた、クでの習

始でで往と書だそ洋海組まかう人とま十めがた弁搭のて南にル  
の航いきつの航な員で今不な生企つ分見、。当載工本側原諸  
島アラテラヨ五にラキニニタ、のここつに上の  
ヘナはしけつド、せれ九ド。所感とたは陸停  
南諸サまたびル動ていドルた狭触と金、で泊  
硫島イつ記りも物くならでだしがかか  
黄をバた述人募保れオと濟隅と忘、美イが  
島目ン次も生金護たウらむの書れ初本女キ  
、指島第見のさ基親ムれば方きらめ揚のキ  
疏しかでら厳せ金切とてすに並れてでTビ出港  
黄、らすれしらのそーしの小べな撃のバ一港も  
島さ北。されたう縉ま外さらいつナツチ後実  
、らに思もためなにつくなれこた、クでの習



きん のなのが山たにか一よ  
 ななさ存に目、連青しけ二いべ  
 このて在ひに車峰空てた月しつ  
 餅か、のろはをがのは“二 よたボ  
 け六大か、降雄下め天三 んラ  
 ご声○きつ海り大、ず氣日 よテ 大会  
 まとkきた王てな海らは、  
 餅とgをか丸バ姿のし(も)  
 もの改なバトを向い。ち  
 そにもめ。トク現こほ雲つ  
 し、ちてとクにしうど一き  
 て小米感、つ近てに澄つ大  
 豆はじ海てづいはみな会  
 餅、た王こくた、きいが  
 み 丸ん私。立つ冬開  
 餅  
 ボランティア大会  
 渡辺真貴

し接イ末(掲載が遅れました)に、  
 財團マ太平洋航に原稿ト衛行送星中つをの、  
 船省シ六くしワごめすりしど、  
 銀航ヤ年だま活ら。かいおこ巢後い、  
 河海ル一さす直躍れ美らとりの立にが日す日にのブ等、  
 丸訓諸一い。輪にて味忘恩身実つ本が中邁思ツ航ヨラ長すて笠  
 藤一練島月。ど入備、し年いを習て船るの、の進いブ海ネンはる、  
 うのえ来い会ま引でいをこ寒一氣さ出ツ士サテー予一  
 良ア下か山! 締経若船とに間はてをいいニア月で月  
 いロさらのズ め験い、思身後三おしなうとのかす四  
 おハイの銘ン 年” 海酒が 究も習春ま引は度  
 をを皆王で始 おお様丸体ま うちにす。  
 おお様丸体ま つにたは。締ぶ超。、聞長お期み京豆

海とヘブはたサ帆るなのし  
 王で通ッ。ト船のいはた私だニラの館バ、忙り上、。○わ。だ港。  
 丸あさチイなに資だ帆帆がも。トイイ  
 にるれをタか同料か船船、夜勝。  
 て訪りで伴集、すあはヤジ  
 サ、船アもしして飲し海、  
 一物た軍一回、セなこな味聴  
 劣のを際の番、重勧、ア嬉  
 厚め士メしるン手停なそに  
 なら官りかだドは泊かそ行  
 造装れサゴつけオなし見らつ  
 り飾た口べた回フいてられたり

うアブ物もY 振船いた○行Nた入N  
 丸あさチイなに資だ帆帆がも。トイイ  
 にるれをタか同料か船船、夜勝。  
 て訪りで伴集、すあはヤジ  
 サ、船アもしして飲し海、  
 一物た軍一回、セなこな味聴  
 劣のを際の番、重勧、ア嬉  
 厚め士メしるン手停なそに  
 なら官りかだドは泊かそ行  
 造装れサゴつけオなし見らつ  
 り飾た口べた回フいてられたり

丸今ひ年が々企一こに多砂! もさぶさ  
 の度ともと、画日う、数糖五鏡なきんビ  
 いは、つまう海等がし、餅年餅鏡つり  
 は、べたご王中終て、ギの間な餅ち魔ツ  
 側綺つ、ざ丸心つ、と、大参どもよ法  
 で麗たべいスタツになつた。最会と  
 おしたしまつまつた。最後と  
 かしよ。の行に、形を、  
 しよいそ方行に、うに言、  
 し、うし、わわ、  
 たねよて、れ準樂した。中、  
 海、あた備した。中、  
 王も來り方、い。いて小、橋

○注ス胸間 じでつ長きアかいもい了窓学々ゴかがのりのす参mらろつ実しれハナス見品習い らあ  
 PSトにNたよてがてニラホでこる後か客とべなら軍海中る加のシウた習たらンイタ学を船るまやつ  
 ン刻終、のり高受い、各トしのよのらか行スも行楽軍にとしブテ。の生者をカフト者幹で船ためた  
 へみわYはさ々ける製船ルヨ光う実紙ら進ブの進隊のはいたロイコガにも交チ、に旋はも、ら。  
 向、り、私らと取ヒの船にう景だ習吹はをツでも工海う帆、一れ陸とい換そベバ販す、多船れ歴  
 け海、でだに上りツク長到かがつ生雪拍しチある參ス軍も船トホは上つたしんツ売る実い上な史  
 て王そのけ海げ、クリに着? 目たたが手たのつと加メののウババ。たてダチすこ習のでいの  
 出丸れ停で王らそアス手し。に、ち舞喝。候たいしラ練で士エルツレはそり自ンはると生に記。ある船はこれ  
 港はぞ泊は丸れれツタ渡、そ浮とのい采沿補。う、ル習あ官イにテ、何しす船トもこは、驚念  
 し七れもなをたをブルさNしかい、を道生我た國ダ艦る候を至リドよてるの、ちとあ乗か品  
 た月のア、誇時我ルガれ。てぶう映バ浴をに々い歌なも。補Oる、で私ち持スロはる組さを  
 八思ツはら、々をラたY、の言画レビ埋続もへをど多參生、一バあももやちかんなが負れ發  
 日いとずしいに本ステ、シで葉の、ビめい、アん歌はく加が。、つ心合つ物のい、にた売  
 、出いだくま向船で、市テはか中ドルたてメ華い自、帆行92五クたにめかとフニ一記。し  
 ポをう、感まか船でフ長イならに終の見堂リやな前チ船進にkかだ残たりそ、とボ般念練で

をくタケ平こ  
 おの、る成と海  
 願ボト富七が王  
 いらす山年決丸  
 い、の度定が  
 たテとたかし富  
 し、イ考めらて山  
 まアえの、以に  
 すのま海本来恒  
 皆す王当一久  
 様。丸に年係  
 の今事富が留  
 之年業山過さ  
 之協毛がに、  
 力多スお

もえ上しれヤス  
 見る部くる、ト入  
 る鋼、な予ド工き  
 こ索と、定、事よ  
 と、シたで帆が中  
 がをユゲすげほの  
 でボラル。たば海  
 きラウン四、終王  
 きラウン四、終王  
 どテースカ取しは、  
 思、イマトらは、  
 アス、は、昨年  
 のトマ、が月年  
 皆を、貞行か未  
 様支ト新わらマ

つアイ年を  
 しにア六隨今  
 やなの回時年  
 れろ皆を行か  
 ばう様予いら  
 は、どの定、は  
 是非、周しボ  
 うりてラボ  
 希望、すテン  
 のボ、イテ  
 方ラボ、アイ  
 ガンラ訓ア  
 テン練募  
 ラ、イテも集

